

鍵屋川柳	詠み人
弥次喜多も不意を食らったくらわんか	猪口和則
館長にぜひ君の名はくらにゃんこ	猪口和則
淀堤おにぎりころり腹減った	詠み人知らず
紙雛と言えども太古の品位の香	茂子
舟宿で遊女とホホホ夢語る	茂子
世の中をじっとみているひな人形	村田基貢子
なにもかもご存知かなひな人形	村田基貢子
枚方は淀川舟で栄えたり	石寄芳廣
いにしえに栄えし宿がわが誇り	石寄芳廣
くらわんかいまどきいうとひとこない	キッチャン
ひなさんも酒を飲みたや夜中には	キッチャン
石だたみ陽炎ゆらりかき氷	めるちゃん
鍵屋浦枝雀偲んで聞く落語	フーマー
枚方は夢の通り路名を誇り	フーマー
足並みを揃えないのが京街道	木立慈雨
夫婦して背筋伸ばして鍵屋道	木立慈雨
玉屋～鍵屋～あゝここ枚方や	我楽多
旅の人花より餅を食らわんか	我楽多
フーフーと吹いて咳き込むごんぼ汁	藤山
鍵屋前春爛漫の匂ひ満つ	西山末子

鍵屋川柳	詠み人
枚方の昔彩どる京街道	西山末子
振り向けば向こうも見てる目と出会い	ヤーヤン
また一人病む割り勘の飲み仲間	ヤーヤン
振り向けば街は他人の顔をする	アーちゃん
あのそこの『お爺さん』ええ僕か	アーちゃん
お互いに中毒ですなと酌ぎこぼし	山彦
お茶がわりなどと嬉しい泡が出る	山彦
味噌汁を恋しがるのは日本人	ハッチン
ふところにお金があつてよくしゃべり	ハッチン
ほろ酔いの内は話せる顔ばかり	タ～坊
双方で道を譲って間が抜ける	タ～坊
くらわんか大阪弁もくらわんか	吉本新喜劇大好き
三十石船からも夕日輝く鍵屋宿	鍵っ子
鮭くらい酒くみかわし鍵を解く	鍵っ子
ごんぼ汁心ほっこりおもてなし	鍵っ娘
淀川からはパークと鍵屋 mismatch	鍵っ娘
くらわんか餅もうこれで3つめよ	ぴち
すてきでしょ五六市で見つけたの	ぴち
鍵屋・枚方宿・京街道・五六市・淀川ほくほく	ときめきき
緯度56度か・極北一・真逆か・保養区・タイ側か	ときめきき

鍵屋川柳	詠み人
くらわんか枚方宿はごんぼ汁	松中喜一郎
くらわんか似たようなこと母も言い	山野大輔
鍵屋浦郷土史という船浮かべ	山野大輔
三世代笑顔の花が舟に咲く	おうめちゃん
くらわんかぽかぽか優しき人ばかり	おうめちゃん
鍵屋宿江戸の扉をまた開ける	さくらがい
京街道魂つないで人つなぐ	さくらがい
百代の時を育む京街道	さくらんぼ
悠久の扉をひらいて鍵屋宿	さくらんぼ
鍵屋宿風・空・人も江戸の色	黒潮
薫風に光る鍵屋の心意気	黒潮
鍵屋にはいつの季節も淀の風	配りや一歩から
歩こうよ京街道昔想う	配りや一歩から
温もりの輪に加らんか喰わらんか	江戸川散歩
鍵屋の戸開けば歴史香り来る	江戸川散歩
伏見から天満に至る水陸路	北川和子
枚方宿水陸交通中継地	北川和子
淀川を三十石の船が行く	正能昭子
浪速と京の真ん中枚方宿	正能昭子
東海道五拾六次枚方宿	正能照也

鍵屋川柳	詠み人
淀川の渡しを降りてくらわんか	正能照也
舟おりて酒とまんじゅうくらわんか	北川佳奈
枚方宿淀川舟運舟着き場	北川佳奈
恋人に戻る夫婦の京街道	一本木
思い出を和とじに一句夫婦旅	ゆうな
栄えた日いまに残して鍵屋宿	黒飛義竹
告白は鍵屋でせよと花菖蒲	黒飛義竹
優男淀の大河に背を押され	瀬のしろ
靴音を京街道に弾ませる	瀬のしろ
マイカタも最近やっとな枚方宿	山田秀樹
かき氷五六市ならくらわんか！	山田秀樹
ヒョウ柄にひけとりしずかに枚方宿	伊加賀の女
京街道鍵屋ばかりがカギじゃない	伊加賀の女
ひらば一のどこにあるのか鍵屋跡	ひらば～にいちちゃん
誰決めたガラ悪ランクのくらわんか	ひらば～にいちちゃん
くらわんかくわらんかと鍵屋辻	カジ
京街道素通り無用の鍵屋宿	カジ
くらわんか！言わぬが花の京街道	ひかえ目花子
色恋が鍵屋をまたぐ京街道	ひかえ目花子
川岸に色恋さそう止め三味線	郷愁に酔う男

鍵屋川柳	詠み人
くらわんか！くらワンコともに鍵屋系	郷愁に酔う男
ハレの日は鍵屋御膳でランチする	明拓
京街道タイムスリップ江戸時代	明拓
淀殿の色香が残る川下り	茶唄鼓
葦は枯れビルが林立京街道	茶唄鼓
宿文化鍵屋の資料で謎を解く	上田康彦
今もなお船宿鍵屋に掟なし	上田康彦
船頭歌京街道にこだまする	やーくん
無垢の恋駆け込み先は鍵屋宿	やーくん
淀川は命を支え時をこえ	マリーちゃん
家康公渡しの銭を借りて逃げ	マリーちゃん
卯の花の白さきわだつ鍵屋内	もも
あじさいも照れる鍵屋の男前	もも
無作法も淀の風なり煮売り舟	安田蝸牛
くらわんか名残惜しんで千鳥足	pon5
五六市ソウルフードがお出迎え	pon5
西行を気取り立ち寄る川の宿	秋之介
寿司を食う石松見える？鍵屋浦	秋之介
淀川の濁るイメージ掃除しよう	噂野アンドゥー
枚方の歴史紐解く鍵屋かな	噂野アンドゥー

鍵屋川柳	詠み人
京街道恋の足あとたどる旅	稲岡俊一
淀川の旅でふれあい咲いた恋	稲岡俊一
船待ちの鍵屋懐かし大広間	大江豊
ランチもと入場券に花を添え	大江豊
未知に行く鏡伝道は道の鍵	渡辺憲生
七夕にかわせみだって恋ごっこ	渡辺憲生
くらわんか舟の茶碗は水の底	春翁
鍵屋にて往時の声もそこかしこ	春翁
五六市手づくり市の手本市	中年やまめ
てなわけでまた来ちゃったの枚方へ	中年やまめ
煮売り舟迎え撃つまでまちわびる	鈴田浩二
にっぽんのみなもおもうくらわんか	鈴田浩二
鍵屋宿DNAを揺り起こし	都わすれ
五六市プラス思考になる不思議	都わすれ
老若のパワースポット五六市	摂津男
なれ初めは五六市でのカフェコーナ	摂津男
吹く風も雅に染まる京街道	荘子隆
古き良き時代を映す鍵屋宿	荘子隆
くらわんかくらえばくろう江戸暮し	えるざ
旅人の心も開く鍵屋さん	えるざ

鍵屋川柳	詠み人
淀川は歴史の流れ見守って	山うさぎ
淀川も旅人眺め旅をする	山うさぎ
もてなしの源あふる鍵屋宿	田中勝
もてなしの心得あふる鍵屋宿	田中勝
河川敷鍵屋の歴史積み重ね	くうる
淀川が母で鍵屋が子となれり	くうる
鍵屋宿江戸の昔もあった宿	えぬごじら
和の心鍵屋で四季の俳句詠む	えぬごじら
いつ迄もストレス無しの鍵屋宿	りつこちゃん
くらわんか餅食い過ぎてメタボかな	りつこちゃん
消さないであんたはだれと記憶する	いくちゃん
AIも鍵屋の子孫が学ぶもの	いくちゃん
いつだって明るい笑顔の鍵屋宿	あっこちゃん
餅食って腹いっぱい京街道	あっこちゃん
鍵屋の灯だんだん遠くなりけり	はるちゃん
北のミサイル鍵屋の上を飛びにけり	はるちゃん
初波に鍵屋の身代夢に乗せ	まさちゃん
ろうそくに江戸の町しのぶ京街道	まさちゃん
五六市主待つ犬も大あくび	アキちゃん
アクセサリー探す楽しみ五六市	アキちゃん
京街道メタボ腹にはいい散歩	富田敦子

鍵屋川柳	
枚方で振り分け荷物ちょっと置き	富田敦子
くらわんか餅を喰ひすぎ舟を漕ぐ	富田啓二
鍵屋館鍵の注文受けつけず	富田啓二
船待ちの気持ち付度雨宿り	あんどーナツ
くらわんかじゃ食べたるで食い倒れ	あんどーナツ
歩くたび鍵屋の宿が泣いている	富田稔
ミシミシと歴史を語る鍵屋さん	富田稔
許されてくらわんか船酒食売り	松中喜一郎
泥町と呼ぶ人多い三矢町	石川明世
淀川に昔ひびけるくらわんか	石川明世
雲の峰鍵屋を襲うシン・ゴジラ	淀紫
梅雨晴間鍵屋模様の水溜り	淀紫
風灼くる鍵屋梶の影の濃し	とりびあの
紫陽花は鍵屋ファーストで咲き誇る	とりびあの
蟬時雨鍵屋の梶動くかも	サケノミ・クス
梅雨入りし鍵屋の梶艶やかに	サケノミ・クス
手をつなぎ京街道で告げる愛	山田明
鍵屋見る君の笑顔にプロポーズ	山田明
淀川に天下の花火我照らす	ひらぼ
鍵屋宿舟に揺られし時の中	ひらぼ